

一般質問

3月定例会



伊藤 好晴 議員

Q 新型コロナウイルス対策は

一斉休校の要請に、本町は小学1・2年生は出校、3年生以上は休校という道を選んだ。児童・生徒および保護者に、休校の根拠をきちんと説明したのか。保護者から事情聴取などを行い、安心できる対策を講じたのか。

安全の確保が大きな問題だ。休校を理由に仕事を休めば、企業も人材が不足する。企業や保護者への相談体制も必要だ。休校中の児童・生徒が安全に過ごせるように、また、保護者の不安が解消されるようあらゆる対策を講じることを求める。

感染は「飛沫感染」と「接触感染」の二つが指摘される。予防対策方法を各家庭へ配布・啓発することが緊急課題と思うがどうか。



来島小学校

A 学校へ連絡対処

教育長 矢飼 斉

教育委員会・学校から保護者宛に文書を出している。保健だより等で休業中の過ごし方を通知した。休校などの根拠は説明しておらず、説明しなくてはいけない。休校中のことは詳しくは捉えていない。学校へ連絡し、対処したい。

A 課題解決に努力

町長 山崎 英樹

3年生以上の家庭は、通常通り事業所へ勤務をいただく前提だった。そこあたりの対応は確かに行っていない。色んな課題が出てくると思うので、指摘の視点をもって努めていく。感染予防対策のチラシを準備し、全戸へ周知する。

Q 充実したガン検診を

ガンによる死亡者数と医療費を削減するには、早期発見・早期治療が第一。線虫ガン検査サービスは、ガンの二オイに注目、95・8%という高い精度でガンの有無を識別でき、簡便な検査（尿採取）で、ステージ0や1という早期ガンも発見できるという。

現行の検診は特定部位に限られ、咽頭ガン・喉頭ガンなどは発見できず、口腔ガンも歯科医師による発見が多いと聞く。受診者の経済的負担も大幅に低減できることから、検診に取り入れることを提案する。

A 今後の検討課題

町長 山崎 英樹

早期ガンを発見できる、それが分かるということは大変興味深い。詳細な情報収集もいまだできておらず、飯南病院の医師の意見も聞きながら、今後の検討課題とする。

一般質問

3月定例会



小野 覚 議員

Q 議会が採択した陳情の経過は

議会に提出された陳情や要望は採択して終わりではなく、町民の要望に応じて実現を図ることである。議会は処理状況を確認し、必要な措置を講ずる責任がある。

- ① 平成28年度から議会で採択した7件の陳情について、処理の検討経過、陳情者への経過報告を問う。
- ② 畑田東水路の改修
- ③ 奥小田地区町道新設
- ④ 町区大仙町水路の改修



改修要望を採択した谷高齢者コミュニティセンター

A 実現に向けて対応

町長 山崎 英樹

議会が採択された陳情や要望は、実現に努力している。① J Aの赤名小水力発電所の水路と併用となっている。現在、地元と民間企業で、発電所再生の検討が進められている。町としては、それを守る。

- ② 国・県に適切な事業がなく、引き続き検討。
- ③ 令和2年度に改修する。
- ④ 実施している他の町道改良の進捗と財政状況を勘案し進める。
- ⑤ ⑥ 県事業で実施するよう要望している。
- ⑦ 谷高齢者コミュニティセンターと谷笑楽校の二つの拠点があり、どこに置るか地域と協議する。

Q 町長と教育長の関係は

教育委員会は、首長から独立してはいるが、健全な町政運営には、町長と教育長の意思の疎通が極めて大切だ。

このたび、小中学校の少人数学級編成の見直しについて、町長と教育長の考え方が違っていたことが一部の新聞で報道されたが、このことについて、どう考えているか。



A 軽率な行動だった

教育長 矢飼 斉

少人数学級見直し案については、町長と意思疎通を図り確認していた。報道にあったメッセージを発したことの経緯は割愛するが、大変思慮が足らず軽率な行動であったと深く反省している。

A 状況判断が不足

町長 山崎 英樹

この件については、二人で意見交換し、知事の考えを支持することを確認していた。ただ、教育長の状況判断が足らなかったため、結果的に違うということになった。

今後は、今回のことを踏まえて、何が町の振興に資するかをしっかりと考えて、教育行政のトップとして汗を流してほしい。